

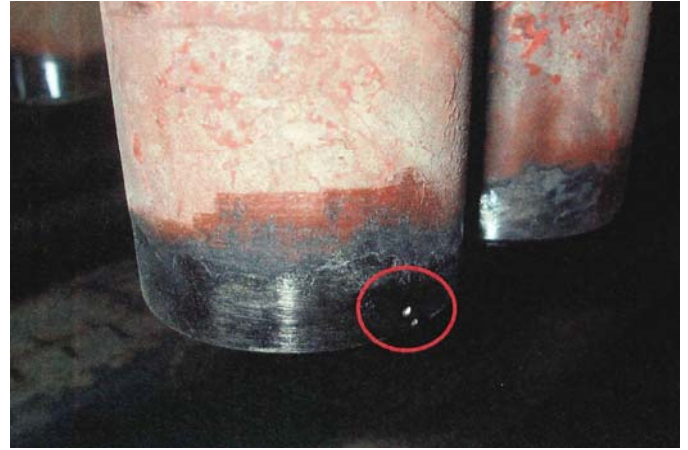
**ボイラーチューブ切断後 グラインダー傷と打痕傷が発見された****【発生状況】**

ボイラー過熱器管の切断後、客先が現場確認をしていた際に、グラインダー傷と打痕傷が発見された。

確認した結果、開先加工時に隣接管を傷つけたとのことであった。

**【 損傷状況 】**

チューブ切断時につけた グラインダー傷



ポンチの打ち間違いによる 打痕傷

**【原因・問題点】**

- ①開先加工時の隣接管への配慮
- ②隣接管へ傷をつけた際、監督者へすぐに報告されていなかった。

**【対策】**

- ①ボイラーチューブの切断や加工の際は隣接管や既設残り部への配慮を行いながら作業する。(必要であれば養生等を行う)
- ②ボイラーチューブへ傷を与えた際は、ただちに監督者へ報告を行う。